

JR連合 政策News

第205号

2011年11月16日

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」第7回総会を開催

4名の国会議員が新規加入し 129名体制に強化

JR三島・貨物の税制特例問題への対応等を中心とした活動方針を確認

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」は11月1日、都内・東海大学校友会館で第7回総会を開催した。総会には、国会会期中の忙しい中、衆参65名の国会議員をはじめ、秘書、地方議員、JR連合執行部、単組役員ら158名が出席し、新年度の活動方針と役員選出について確認した。会長・松野頼久衆議院議員（再、熊本1区）、副会長・榛葉賀津也参議院議員（再、静岡県）、同・伴野豊衆議院議員（新、愛知8区）、事務局長・三日月大造衆議院議員（再、滋賀3区）、事務局次長・小川淳也衆議院議員（再、香川1区）の役員を選出するとともに、新たに4名の議員の加入を確認し、議員フォーラムは総勢129名（衆議院93名、参議院36名）体制に強化された。懇親会を含め、総会には細野豪志環境大臣も駆けつけたほか、政務・党務の重要ポストに就かれた方々を含め、多くの国会議員が出席し、熱気溢れる会合となった。



議員フォーラムを代表し松野会長は「本フォーラムは2006年に結成し、以降、初代会長中野寛成先生、第2代会長高木義明先生等の先輩方のご尽力により、今日の129名にものぼる充実した体制に至っている。交通基本法の早期制定も課題であるし、今年度の税制改正における、JR三島・貨物会社の税制特例問題は当面する最も大きな課題だ。国民、地域の足である鉄道の交通体系を守るためにも、議員フォーラムの先生方のお力を貸していただきたい」と挨拶した。

続いて、JR連合を代表して坪井会長は、東日本大震災からの復旧・復興対策、そして鉄道・運輸機構の特例業務勘定を活用したJR三島・貨物会社への経営支援策に関する議員各位の取り組みに敬意を表したうえで、「来年4月でJR発足25年を迎える。JR連合の中心的課題は、JR、公共交通機関の維持・発展であり、それが国鉄改革当時の約束ごとである。しかしながら、高速道路網が整備されていく一方で、公共交通機関、特に地方公共交通機関が苦境に追い込まれつつあるというのが、今日的な状況である。

こうした課題に加え、いわゆる革マル派のJR職場への浸透問題など、国鉄改革の残された課題の完遂にむけて、全力で頑張っていかなければならないと考えている。

当面する緊急課題は、東日本大震災に伴う第三次補正におけるJR貨物・臨海鉄道への経営支援、そして24年度予算・税制改正における、JR三島・貨物会社の税制特例措置問題、軽油の減免措置である。とりわけ、この三島・貨物会社の税制支援については、なかりせば、今後会社経営が成り立っていないという厳しい現実を是非ともご理解いただきたい。

将来にわたって交通をキチンと守っていくために、持続可能な交通体系を築いていくという高い志で全力で頑張る決意であり、「ご協力をお願いしたい」と挨拶し、議員各位の協力を要請した。

議事では、4名の議員の加入を決定したうえで、JR連合の政策、組織課題について提起し、議員フォーラムと連携を強化し要求実現にむけ活動を進める方針を確認した。役員改選では、新たに副会長に伴野豊衆議院議員を選出する体制を確認した。

また、総会後にはJR三島・貨物税制特例に関する勉強会を開催し、久保国交省鉄道局長からの説明が行われ、その重要性を再確認した。

なお、総会終了後、各地本代表者も参加して懇親会を開催し、有意義な意見交換を行った。

JR連合は、新体制となった「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」との連携を強化し、喫緊の重要課題が山積する政策や組織の要求実現にむけて、さらに活動を強化していく方針である。

【第7回「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」総会概要】

1. 日 時 2011年11月1日（火）17：30より

2. 会 場 東海大学校友会館（東京都千代田区）

3. 出席者

（1）国会議員

[衆議院] 松野頼久議員（会長）、伴野豊議員（副会長）、三日月大造議員（事務局長）、小川淳也議員（事務局次長）、中野寛成議員（前国家公安委員長、顧問）、高木義明議員（前文部科学大臣、顧問）、細川律夫議員（前厚生労働大臣）、吉田治議員、海江田万里議員（前経済産業大臣）、細野豪志議員（環境大臣）、近藤昭一議員、赤松広隆議員、古本伸一郎議員、鈴木克昌議員、園田康博議員（内閣府政務官）、中井洽議員、森本哲生議員（農林水産政務官）、村井宗明議員、奥田建議員（国土交通副大臣）、近藤和也議員、田島一成議員、平智之議員、泉健太議員、小原舞議員、大谷信盛議員、森山浩行議員、長安豊議員、岸本周平議員、玉置公良議員、向山好一議員、市村浩一郎議員、高井崇志議員、津村啓介議員、柚木道義議員、湯原俊二議員、小室寿明議員、高井美穂議員、古賀敬章議員、楠田大蔵議員、古賀一成議員、野田国義議員、城井崇議員（文部科学政務官）、原口一博議員、福嶋健一郎議員、道休誠一郎議員、川内博史議員、網屋信介議員（47名）

[参議院] 棚葉賀津也議員（副会長）、尾立源幸議員（財務政務官）、岩本司議員（農林水産副大臣）、小川勝也議員、藤本祐司議員、大塚耕平議員、高橋千秋議員、林久美子議員、福山哲郎議員（前内閣官房副長官）、前川清成議員、江田五月議員（前法務大臣）、柳田稔議員、武内則男議員、大久保勉議員、川崎稔議員、津田弥太郎議員（厚生労働政務官）、川合孝典議員、難波獎二議員（18名）

※代理出席（議員秘書） 38名

（2）JR連合・単組代表・地方議員 55名

4. 松野頼久会長あいさつ

2006年の「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」結成以降、初代会長中野寛成先生、前会長高木義明先生等の先輩方のご尽力により、今日の129名体制まで築いてきていただいた。先の国会では、交通基本法が残念ながら通らず継続審議となつたが、衆議院の国土交通委員会の中の申合せで、今臨時国会では優先的に審議していくという合意がなされているところであり、また、今年度の税制改正についても、JR連合が要望している、5年に1度の固定資産税の租税特別措置法の期限延長あるいは特例の恒久化など、JRに關係する政策が目白押しである。

国民、地域の足である鉄道の交通体系を守るために、それぞれの政策実現のために、議員フォーラムの先生方におかれでは、いっそうのお力を貸していただきたいということをお願いする次第である。

本日は大変ご多忙の中、こうしてお集まりいただいたことに心から感謝を申し上げながら、挨拶とさせていただく。



5. JR連合坪井会長あいさつ

先生方におかれでは、午前中は参議院本会議、衆議院の本会議は先ほど終わったばかりであり、ご多忙の中、JR連合「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム総会」にご出席いただき、心から感謝する。

1986年12月に国鉄改革法が成立し、1987年4月に国鉄からJRに移行して、早いもので来年4月に25年を迎える。

私どもが求めていくべき中心的な課題は、全国ネットワークのJRをいかに維持・発展させていくことである。地域の皆さんのが足として、そして日本国民の大きな交通インフラとして、しっかりと強化・発展させていくことが国鉄改革当時の約束ごとでもあり、今日も同じであろうと考えている。



こうした趣旨を踏まえ、2006年に「21世紀の鉄道を考える」ということでこの会を結成させていただき、本総会で7回を迎える。

21世紀における鉄道の役割については、高速道路網が整備されていく一方で、公共交通機関、特に地方公共交通機関が苦境に追い込まれつつあるというのが、今日的な状況であり、とりわけ、自民党政権下でこうした状況が急速に進んできた。

こうしたJRの鉄道網の維持・発展をはじめ、国鉄改革の残された課題について、その完遂にむけて、さまざまな場面で今まで強く主張、要請してきた。具体的には、①三島貨物の経営自立をしっかりと作っていくこと、②国鉄改革の残滓である組織的な課題、いわゆる革マル派のJR職場への浸透問題である。

この二つの課題に対して全力で頑張っていかなければならないと考えている。

当面する緊急課題は、東日本大震災に伴う第三次補正におけるJR貨物・臨海鉄道への経営支援、そして24年度予算・税制改正における、JR三島・貨物会社の税制特例措置問題、軽油の減免措置である。とりわけ、この三島・貨物会社の税制支援については、なかりせば、今後会社経営が成り立っていないかという厳しい現実を是非ともご理解いただきたい。

特例業務勘定問題ではフォーラム議員の皆様のご尽力により、6,000億円はじめとする支援をいただいた。あらためて感謝申し上げる。しかしながら、先ほど申し上げた、三島・貨物の税制特例

問題のみならず、高速道路料金問題もまだ残っている。将来にわたって交通をキチンと守っていくために、国鉄改革の大きな柱をもとにして、持続可能な交通体系を築いていくという高い志で全力で頑張る決意なので、よろしくご協力をお願いしたい。

最後に、37の基本法があると伺った。残念ながら、交通モードに関する基本法はない。是非とも、人流・物流も含めた将来にわたって持続可能な総合交通体系を維持・発展させていくために、交通基本法の早期成立をお願いして、JR連合代表の挨拶とする。

6. 新規加入議員の確認について

(1) JR西労組推薦 (2名)

衆/参	氏 名	年齢	回数	政党	選挙区
衆	向山好一	54	1	民主党	兵庫2区
参	水岡俊一	55	2	民主党	兵庫県

(2) JR九州労組推薦 (2名)

衆/参	氏 名	年齢	回数	政党	選挙区
衆	古賀敬章	58	2	民主党	福岡4区
衆	野田国義	53	1	民主党	福岡7区

7. 新年度の活動方針（案）について

(1) 政策課題の実現にむけて

① JR連合の政策の基本方針

- 1) 最重要課題である安全確立への取り組み
- 2) 「鉄道の特性を活かした持続可能な交通づくり」を目指す政策方針
- 3) JR発足25年を迎えて～国鉄改革の真の完遂＝JR三島・貨物会社の自立経営確保を

② 緊急課題への対応

- 1) 東日本大震災に伴う鉄道の復旧に向けた取り組み
- 2) 2012年度税制改正に向けた取り組み
- 3) 高速道路料金問題への対応に向けて
- 4) 「交通基本法」の早期制定に向けて

(2) 民主化闘争の完遂に向けて

8. 役員の選出

【「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」役員】

役 職	氏 名	年齢	衆/参	選挙区
会 長	松 野 賴 久	5 1	衆	熊本 1 区
副会長	榛 葉 賀津也	4 4	参	静岡県
	伴 野 豊	5 0	衆	愛知 8 区
事務局長	三日月 大 造	4 0	衆	滋賀 3 区
事務局次長	小 川 淳 也	4 0	衆	香川 1 区
顧 問	中 野 寛 成	7 0	衆	大阪 8 区
	高 木 義 明	6 5	衆	長崎 1 区

特別顧問	鳩 山 由紀夫	6 4	衆	北海道 9 区
	岡 田 克 也	5 8	衆	三重 3 区
	川 端 達 夫	6 6	衆	滋賀 1 区
	前 原 誠 司	4 9	衆	京都 2 区

※ 2011 年 11 月 1 日 第 7 回総会選出